

大館市文化財調査報告書 第10集

大館市内遺跡詳細分布調査報告書(4)

2014

秋田県大館市教育委員会

大館市文化財調査報告書 第10集

大館市内遺跡詳細分布調査報告書(4)

2014

秋田県大館市教育委員会

例　　言

1. 本書は、市内遺跡詳細分布調査に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 調査は、平成25年度に大館市内遺跡発掘調査事業（国・県補助）として、大館市教育委員会郷土博物館の職員が実施した。調査と整理の体制は第1章に記した。
3. 各調査の測量は、高橋光大（大館郷土博物館臨時職員）が実施した。野外調査の写真撮影は嶋影壮憲（大館郷土博物館主任）、高橋が行った。室内での遺物撮影は、（株）ワールドプラン社の協力を得た。
4. 本書は、吉原智和（大館郷土博物館主査）の協力を得て、嶋影が執筆・編集した。
5. 本報告書に使用した地形図は、秋田県教育委員会発行の『秋田県遺跡地図（北秋田地区版）』及び大館市発行の「都市計画図1/2,500」である。
6. 本調査で出土した遺物及び記録類は、大館市教育委員会郷土博物館で保管している。

凡　　例

1. 本書遺構図等における各基準は、下記のとおりである。なお、その都度スケール・方位・凡例等を示す。
 - (1) 略記号・縮尺
製鉄炉跡・焼土 S L
柱穴様ピット S P 1:40
 - (2) 標高単位
遺構図 単位 m
スクリーントーン
遺構平面図の焼土 網目
 - (3) 図の方位
北は図面天方向に合致する。
2. 遺物写真図版の縮尺は、下記のとおりである。

土器片・鉄関連遺物	1 : 3
錢貨	1 : 2

目　　次

例言.....	i
凡例.....	i
目次.....	i
第1章 事業実施の概要.....	1
1 調査の経緯.....	1
2 調査要項.....	1
3 調査の方法.....	1

第2章 詳細分布調査	4
1 比内町扇田地区	4
2 芦田子上岱遺跡	6
3 花岡城跡・神山遺跡	15
4 下川原地区	19
5 小館町遺跡隣接地	24
大館市遺跡一覧	27

挿図目次

図 1 調査遺跡位置図	3	図 8 調査地区と周辺の地形	16
図 2 調査地区と周辺の地形	5	図 9 調査位置と検出遺構図、出土遺物	17
図 3 調査地区と周辺の地形	7	図 10 調査地区と周辺の地形	20
図 4 調査位置図	8	図 11 調査位置図	21
図 5 B地区土層柱状図	9	図 12 調査地区と周辺の地形	25
図 6 検出遺構図と出土遺物	10	図 13 調査位置図	26
図 7 調査結果図	11		

写真図版目次

図版 1 調査状況	4	図版 5 調査状況と出土遺物	18
図版 2 調査状況 (1)	12	図版 6 調査状況 (1)	22
図版 3 調査状況 (2)	13	図版 7 調査状況 (2)	23
図版 4 調査状況 (3) と出土遺物	14	図版 8 調査状況	26

表目次

表 1 詳細分布調査一覧	2	表 3 大館市遺跡一覧表 (比内地域)	30
表 2 大館市遺跡一覧表 (大館地域)	28	表 4 大館市遺跡一覧表 (田代地域)	31

第1章 事業実施の概要

1 調査の経緯

大館市内には、現在 289 の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が確認されている。大館市教育委員会では、平成 15 年度より文化財保存事業補助金交付を受け、市内の埋蔵文化財包蔵地の所在・確認調査を実施してきた経緯がある。宅地造成等の開発や農業関係の開発など、将来的に市街地周辺の各種開発行為が大いに予想される今日の状況に対応する必要があったためである。今年度も同様に、市内各地で、宅地造成工事等の開発に伴う埋蔵文化財の事前調査を実施した。

なお、平成 25 年度の野外調査は、6 月 4 日より 12 月 25 日までの 7 カ月間で、5 カ所について実施した。調査を実施した地区の遺跡名、所在地、調査面積、調査期間等は表 1 に示すとおりである。

2 調査要項

(1) 調査体制

教　育　長	高　橋　善　之
教育次長	石　井　　隆
生涯学習課長	保　坂　美保子
生涯学習係主任	滝　内　亨　（下川原地区調査担当）
郷土博物館長	若　宮　司
文化財保護係長	岸　国　也
主　　査	吉　原　智　和
主任（学芸員）	嶋　影　壯　憲　（調査担当）
調査補助員	高　橋　光　大　（2 月 28 日まで）

(2) 調査期間

現地調査	自：平成 25 年 6 月 4 日	至：平成 25 年 12 月 25 日
整理作業	自：平成 25 年 12 月 26 日	至：平成 26 年 3 月 31 日
調査面積	377 m ²	

3 調査の方法

今回の調査にあたり、調査の基本を 20 m 間隔の方眼とし、必要に応じ間隔を 10 m と設け実施した。1 試掘坑の基本を 1.5 m 角として設定し、一部 2 m 角に広げ、バックホーまたは人力で掘削した。出土遺物は、各層位及び調査坑単位で取り上げた。

表1 詳細分布調査一覧

事業	登載番号	遺跡（地区名）	調査地	調査対象面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査期間
車庫改築		比内町扇田地区	比内町扇田字上大岱51-3	67	26/4	
農地集積加速化基盤整備	4-49	芦田子上岱遺跡	芦田子字上岱地内	10400	68	6/12～6/22
個人住宅建設	4-21	花岡城跡・神山遺跡	花岡町字神山131-1、132-1	612.84	7	9/5
福祉施設建設		下川原地区	下川原字向野地内	12000	293	11/6～12/3
宅地造成	4-141	小館町遺跡隣接地	小館町84-1	392.4	7	12/25
合計					377	



図1 調査遺跡位置図 (1 : 50000)

第2章 詳細分布調査

1 比内町扇田地区（車庫改築）

(1) 調査地の位置と周辺の環境

調査を実施した地区は、米代川とその支流である犀川に挟まれた台地の北西部に位置する。調査区の南約0.3kmのところには、縄文時代前期から平安時代までの遺物が出土する大岱遺跡が分布する。さらに沢跡の対岸の台地南西側には、平安時代の袖ノ沢遺跡やその東隣には縄文時代前期及び平安時代の包蔵地である横沢II遺跡などが周辺遺跡として知られている。また、本地区の北側約0.5kmに位置する本道端遺跡からは縄文時代中期の円筒上層式土器～大木10式並行期の住居跡23軒を確認している。調査地内の標高は、海拔80mほどで、東から西へ緩やかに下る。

(2) 層序

盛土（砂利）70cmの下は黄褐色粘土層となっていた。

(3) 概要

調査区は現在機器置場として使用されているが、担当者の話では、過去の造成の際に黒色土はほとんど除去したことである。そのため、残念ながら黒色腐植土層および漸移層が残存していない状況であり、遺構・遺物の発見はなかった。

以上の結果から、今回調査を実施した地区については、遺跡は存在しないと判断した。



調査地区近景



調査状況

図版1 調査状況

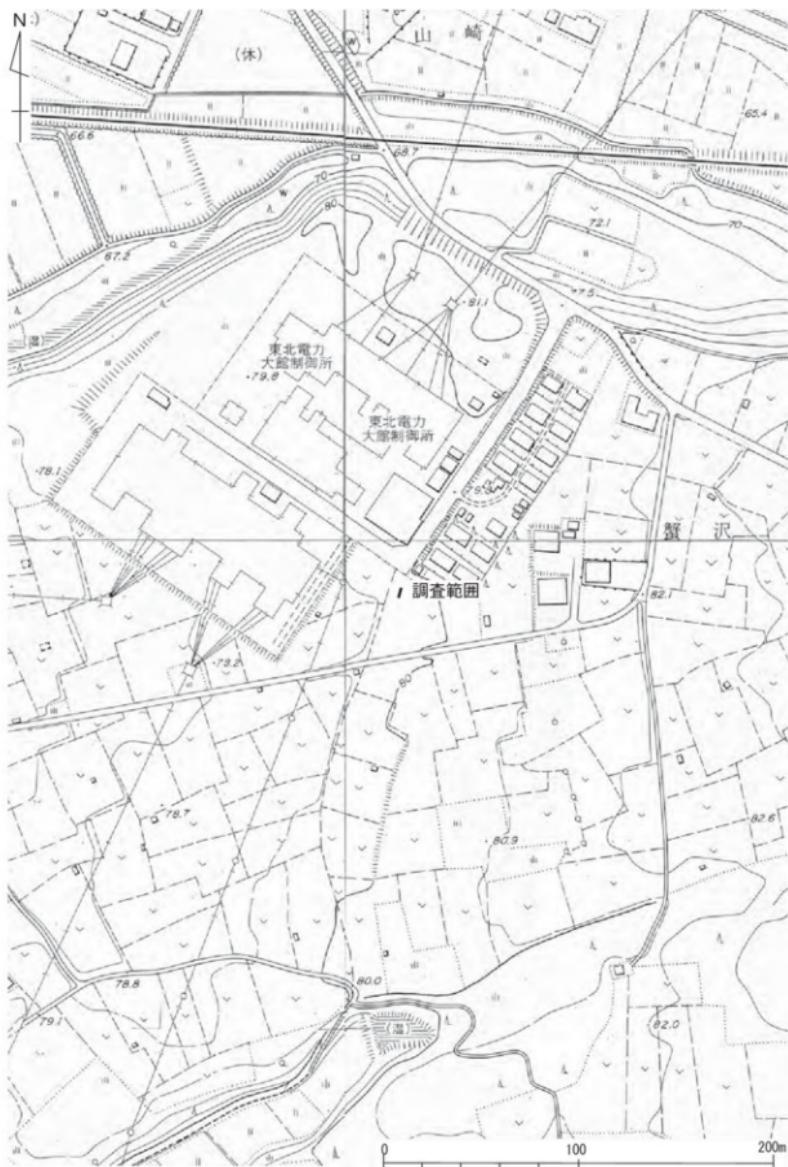


図2 調査地区と周辺の地形 (1 : 2500)

2 芦田子上岱遺跡（農地集積加速化基盤整備事業）

（1） 遺跡の位置と周辺の環境

芦田子上岱遺跡は、昭和63年に確認された遺跡である。市内の遺跡は、米代川とその支流域の付近の丘陵や台地上に所在するものが多く、本遺跡もその1例である。本遺跡は、面倉山より端を発し長木川と合流する大茂内沢と、高森より発する長木川水系に挟まれた台地上、現在は二つのため池がつくられている小さな沢沿いに存在する。遺跡はJR大館駅の北東約3.5kmの距離に拡がる。大茂内沢を挟んだ対岸には、縄文時代後期の諏訪台D遺跡や弥生時代前期及び平安時代の集落跡である諏訪台遺跡などが周辺遺跡として知られている。

遺跡内の標高は、海拔95～100mほどで、北東から南西へ緩やかに下る。

（2） 層序

今回の調査にあたり、墓地東部をA区、中堤地区をB区とした。

- I層 表土・耕作土および盛土。A・B区とともに東側で盛土を確認したが、ほかでは存在しない。
To-a 十和田a降下火山灰。B区で一部確認した。
- II層 黒色～黒褐色の腐植土層。B区の標高の低い谷部近くで僅かに確認できただけである。既黒に造成による削平が著しく、中堤の全面におよんでいたため、今回の調査区では大半が消滅していた。
- III層 黒褐色～暗褐色土。II層とIV層の漸移層である。II層黒色土層があまり存在せず、削平が本層まで深く及んでいることから、本層も薄く概ね5～20cm程度しか残存していない。
- IV層 暗褐色～黄褐色土層。基盤のローム。全調査区の基盤をなす層である。比較的砂質が強く、粘性が幾分弱い。

（3） 概要

試掘坑内からは遺構は確認されず、遺物も鉄滓1点が出土したのみである。その他、試掘坑11の北西部、昨年度、鉄関連遺物を採集した付近から、鉄滓5点（図版4-1～4）を採集し、製鉄炉跡とみられる遺構（SL1）を1基確認した。そのため、周辺を精査したところ、土坑などとみられる黒色土落ち込みを3ヵ所確認した。また、調査地内（B地区）から、縄文土器2点、石器類7点、錢貨（寛永通宝）4枚（図6-1～4）が表面採集された。

A区は遺構・遺物が確認されず、遺跡のエリアに入るとは考えがたい。B区の東部は、以前水田として使用されていたが、しばらく耕作されていなかったようで、ヨシが広がる稚種地的な感じであった。そのため、全般的に薄い表土以下はIV層となっていた。B区の調査は、台地中央部である南東水田側より開始した。以降、順次20m間隔を基本として進行したが、製鉄関連遺物が採集された周辺では、確認のため中間の10m間隔で一部掘開した。前述のように、残念ながら遺物包含層であるII層黒色腐植土層がほとんど残存せず、また、漸移層であるIII層も比較的薄い状況であったことなどから、調査区内の層位からの遺物の出土はほとんどなかった。平成元年の確認状況においては、縄文土器、土師器（点数は不明）との報告がなされている。

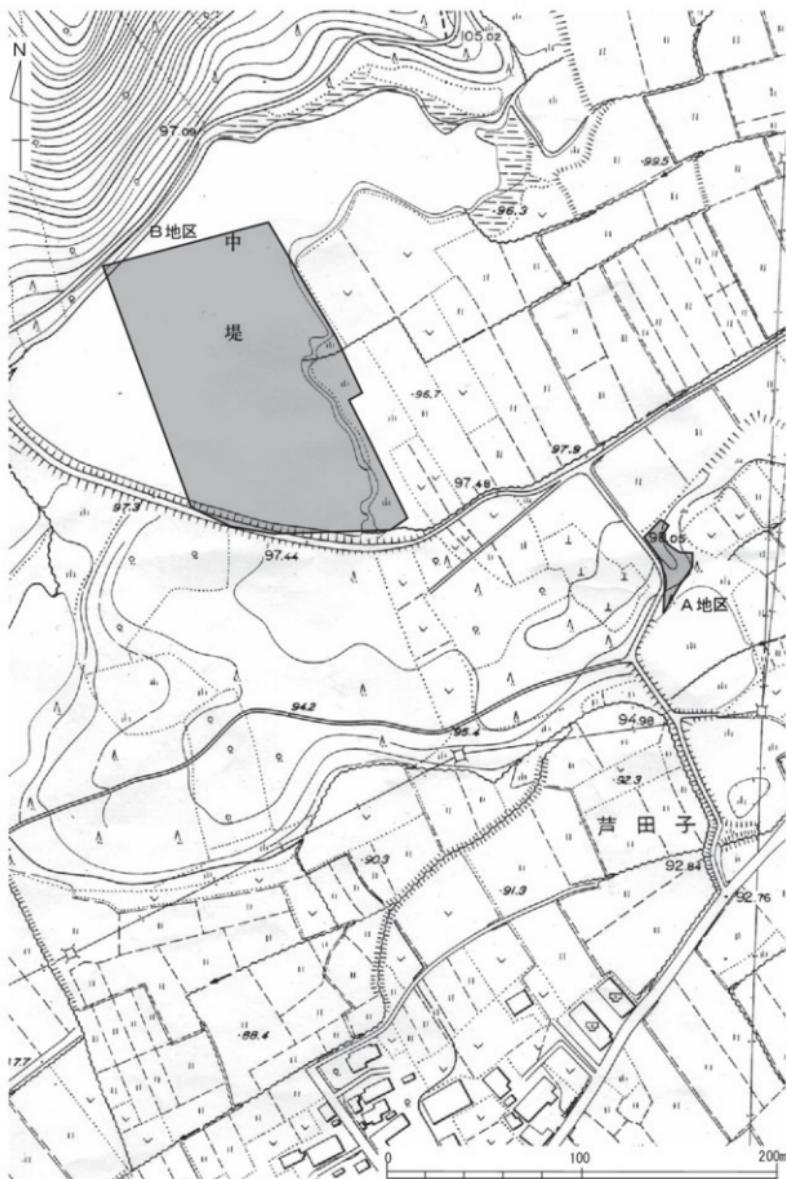


図3 調査地区と周辺の地形 (1:2500)

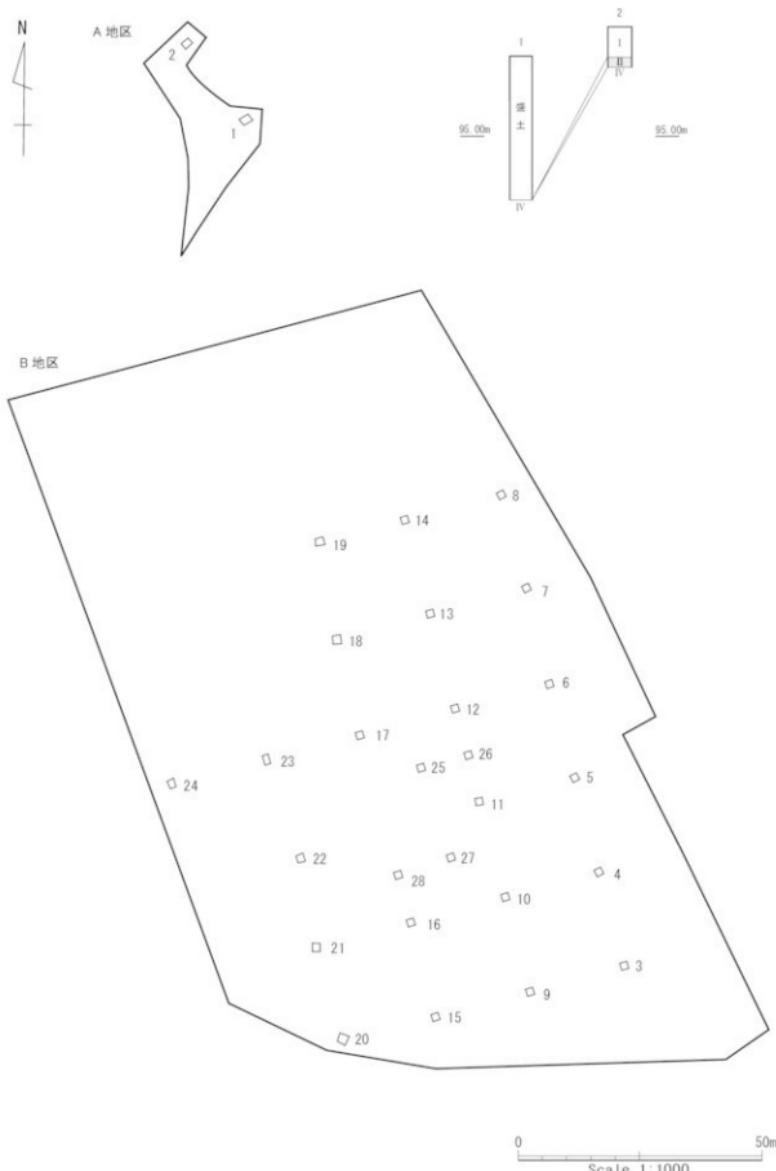


図4 調査位置図

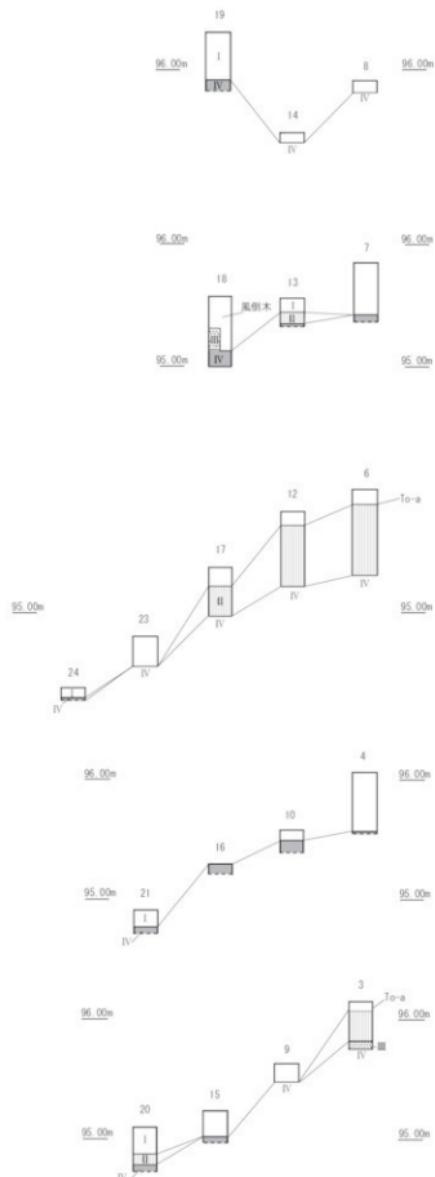


図5 B地区土層柱状図

今回の調査で、地表面より遺物は僅か17点ほど採集されている。縄文時代中期かと思われる小破片2点、貝岩の剥片などである。また、遺構は製鉄炉跡1基、土坑などと思われる黒色土落ち込み3ヵ所である。

以上の結果から、今年度調査を実施した西側の地区（B地区）については、残念ながら既に耕作のための水田をならすためや、堤の堰堤を造成するための掘削・削平等により消失してしまったと考えられる。ただ、B地区調査区内中央を横断する谷部北側斜面には一部製鉄炉跡（SL 1）などの遺構が僅かに残存していると判断されるため、SL 1を包括する東西25m、南北8mの範囲を保護措置の必要な範囲と考える。措置の内容は発掘調査が妥当と思われる。

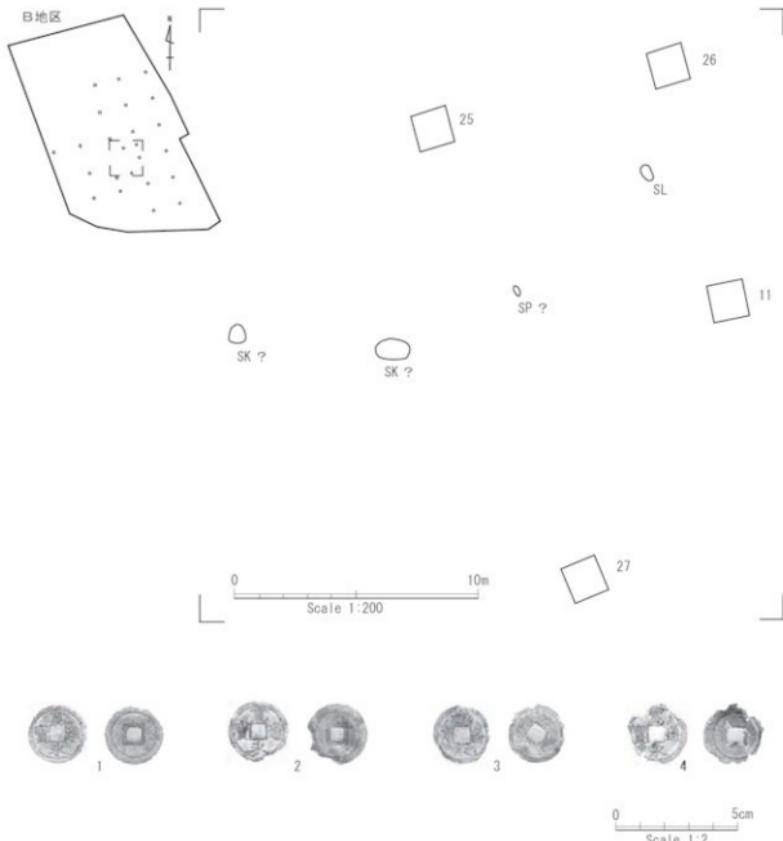


図6 検出遺構図と出土遺物



図7 調査結果図



A地区調査状況



2調査状況



B地区近景



B地区近景



3調査状況



5調査状況



7調査状況



8調査状況

図版2 調査状況(1)



12調査状況



13調査状況



15調査状況



18調査状況



20調査状況



21調査状況



22調査状況



23調査状況

図版3 調査状況(2)



25調査状況



28調査状況



B地区調査状況



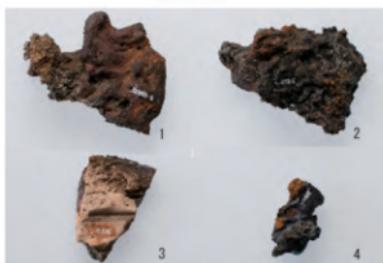
B地区調査状況



製鉄炉跡



検出遺構



出土遺物



出土遺物

図版4 調査状況(3)と出土遺物

3 花岡城跡・神山遺跡（個人住宅建設）

(1) 遺跡の位置と周辺の環境

花岡城跡・神山遺跡は、昭和 53・55 年に秋田県が実施した中世城館遺跡群詳細分布調査で登載された遺跡である。市内の遺跡は、米代川とその支流域の付近の丘陵や台地上に所在するものが多く、本遺跡もその 1 例である。本遺跡は、縫戸山より端を発し大森川と名を変える粕田川と、袴腰山東部より発する花岡川の合流する地点の南西部に位置する広大な台地上に存在する。遺跡は JR 大館駅の北約 3.5km の距離に拡がる。花岡川の上流域には中世城館である七ツ館跡や縄文時代前期から中世までの遺物が確認されている十三森遺跡などが周辺遺跡として知られている。また、南西側に位置する松峰遺跡からは須恵器、土師器、中世陶器を確認している。

遺跡内の標高は、海拔 78 ~ 83 m ほどで、台地内には幾筋かの浸食谷がある。

(2) 層序

I 層 盛土。20 ~ 35cm。

II 層 黒色の腐植土層。試掘坑 2 で僅かに確認できただけである。既に造成による削平が著しく、宅地の全面におよんでいたため、今回の調査地区ではほぼ消滅していた。

III 層 黄褐色土層。基盤のローム。全調査区の基盤をなす層である。比較的砂質が強く、粘性が幾分弱い。

(3) 概要

試掘坑内から遺構は、試掘坑 1 から柱穴様ピット 2 基、試掘坑 2 から焼土が検出された。遺物は柱穴様ピットから 1 点の土師器、焼土中から 11 点の焼成粘土塊を得た。なお、試掘坑周辺の住宅地解体土中から 3 点の土師器片を得た。このうち、図 9-1 は土師器の底部片。また、調査地周辺の畠より須恵器片 3 点、土師器片 40 点、中世陶器（珠洲焼）1 点、近世・近代陶磁器片 17 点、石器片 1 点、鉄製品 1 点を採集した。

調査区は、以前宅地として使用されていたため、残念ながら遺物包含層である II 層黒色腐植土層がほとんど残存せず、また、漸移層も残存していない状況であったことから、調査区内の層位からの遺物の出土はなかった。

以上の結果から、今回調査を実施した地区については、残念ながら既に宅地造成の土地をならすための掘削・削平等により消失してしまったと考えられるものの、遺構・遺物が僅かながら検出されていることから保護措置が必要と考える。措置の内容は、工事立会等の軽微なものが妥当と判断した。

なお、平成 25 年 9 月 12 日～13 日に原因者の協力のもと、工事立会を実施した。立会の結果、工事範囲内の北東部で土坑 1 基が確認されたが、遺物は確認できなかった。

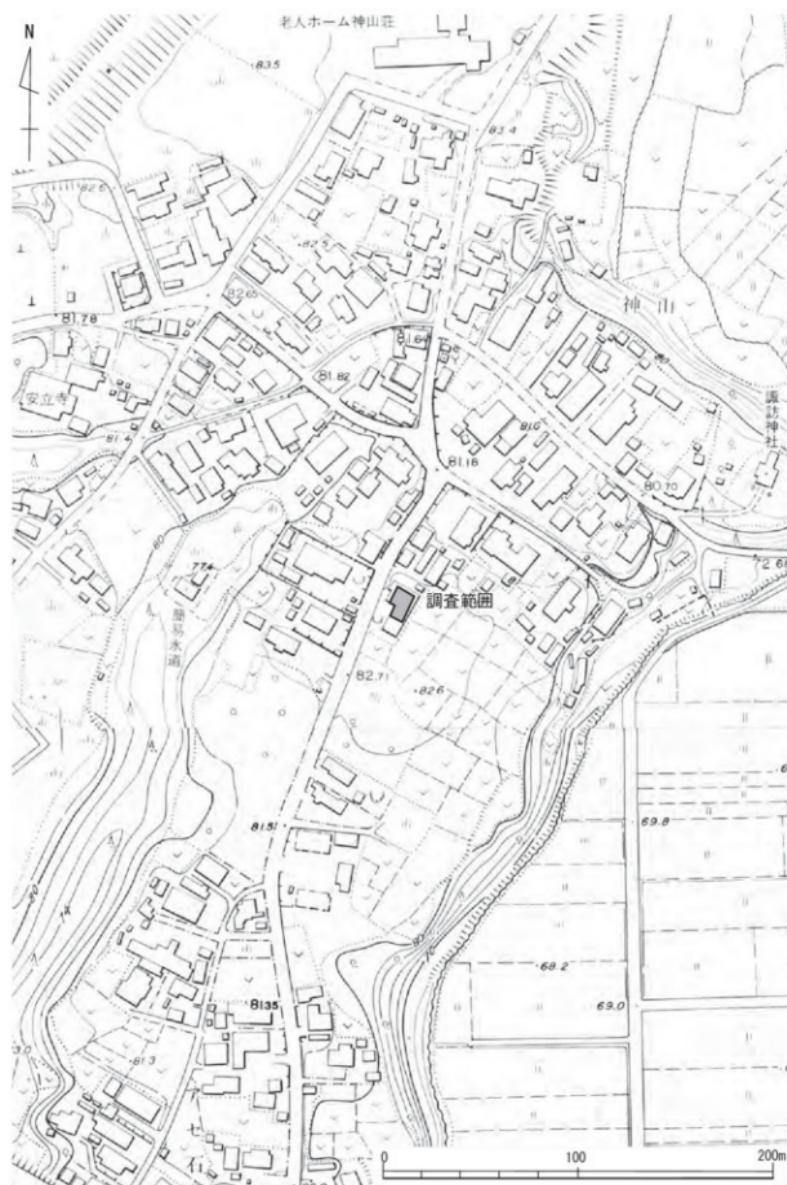
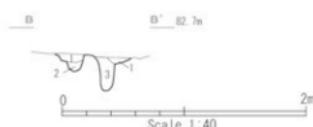
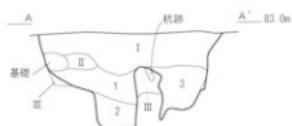
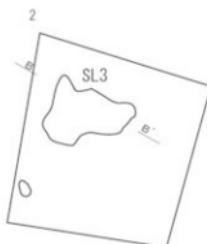
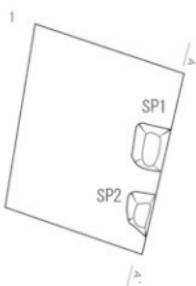


図8 調査地区と周辺の地形(1:2500)



SP1・2

- 1 10YR1.7/1 黒色 地山ブロック非常に多量混入。
締まりなし。粘性弱。
- 2 10YR3.2 黑褐色 地山粒非常量混入。
締まりなし。粘性弱。
- 3 10YR1.7/1 黒色 地山ブロック少量混入。締まり、粘性あり。

SL3

- 1 10YR2.2 黑褐色シルト 地山ブロック少量混入。
非常に固く締まる、粘性なし。
- 2 10YR5.6 黄褐色 地山。黒色土筋状に微量混入。
非常に固く締まる。
- 3 7.SYR3.2 黑褐色 燃土。黒色土少量混入。締まりあり。
粘性なし。地山被熱。

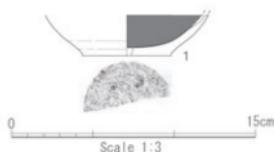


図9 調査位置と検出遺構図、出土遺物



遺跡近景



調査状況



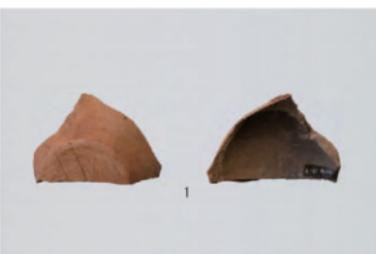
1 調査状況



2 調査状況



3 調査状況



出土遺物

図版5 調査状況と出土遺物

4 下川原地区（福祉施設建設）

(1) 調査地の位置と周辺の環境

調査を実施した地区は、八幡平より端を発し日本海へ流れる米代川と、竜ヶ森の北麓より発する引欠川に挟まれた段丘の南部で、引欠川へかつて合流していた河川跡沿いに位置する。調査区の東約0.7kmのところには、江戸時代のけら木森一里塚（大館市指定史跡）が知られている。

調査地内の標高は、海拔47mほどで、北から南へ緩やかに段丘の側面を下る。

(2) 層序

I層 表土。平均15～30cm。

II層 黒色の腐植土層。

III層 暗褐色～褐色土。II層とIV層・V層の漸移層である。本層は薄く概ね5～20cm程度しか存在していない。

IV層 黄褐色の色調を示す土層である。標高が若干高い調査区北側の一部にしか存在しない。

V層 褐色～黄褐色砂層。全調査区の基盤をなす層である。河川の氾濫に由来する砂層と考えられる。なお、AD-9区で、V層を1m下まで掘削して確認したが、褐色と黄褐色の砂層が5～12cmの厚さで互層状に堆積しており、13層まで確認できた。さらに下に同様に続くと思われる。

(3) 概要

調査区は、現在林地として利用されている。そのため、全般的に柔らかい縮まりのない土であった。ナタにより調査必要な範囲を枝払いし、表土より人力にて掘開した。調査は微高地である北東側より人力にて掘開した。以降、順次緩斜面に沿いながら10m間隔を基本として進行したが、ある程度進んだ段階で、状況により出土の見込みが低いため20m間隔で一部掘開した。調査区内からの遺構・遺物の出土はなかった。

以上の結果から、今回調査を実施した地区については、遺跡は存在しないと判断した。



図10 調査地区と周辺の地形(1:2500)

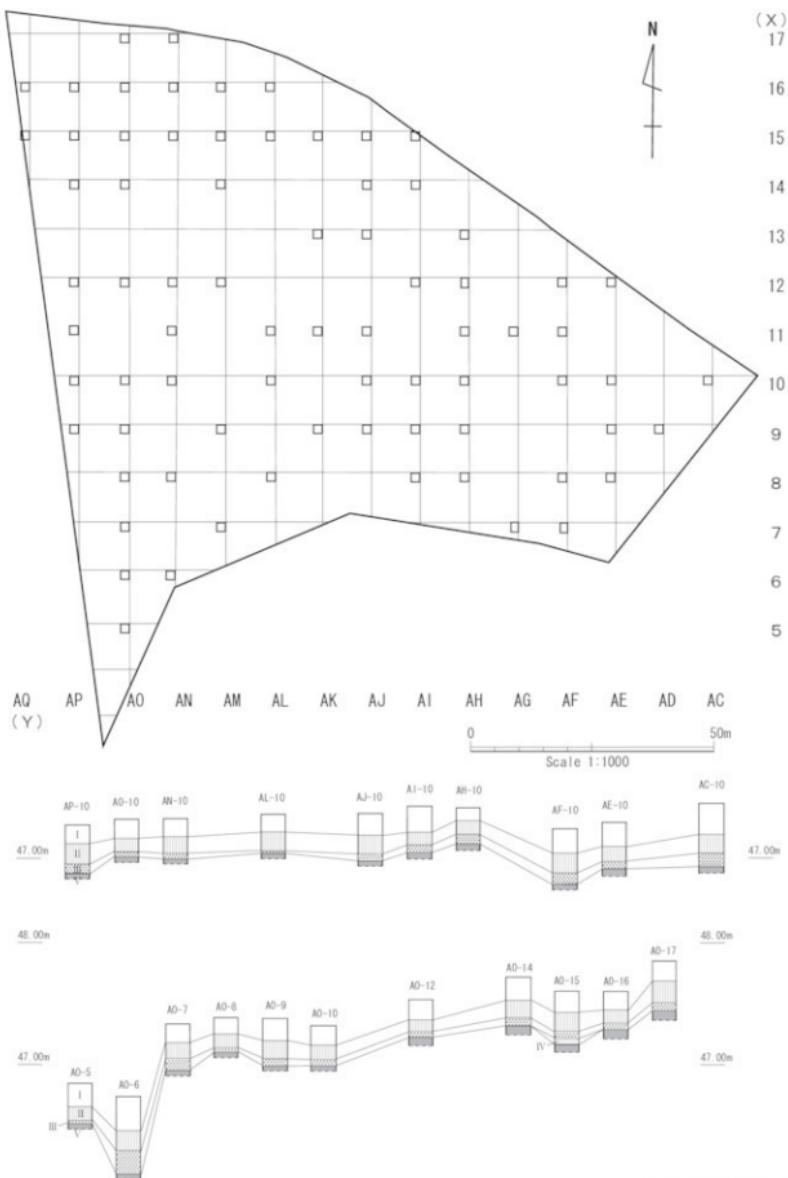


図11 調査位置図



調査地近景



調査状況



AC-10 調査状況



AD-9 調査状況



AF10 調査状況



AJ10 調査状況



AL10 調査状況



A010 調査状況

図版 6 調査状況（1）



AO-5調査状況



AO-6調査状況



AO-8調査状況



AO-9 調査状況



AO-12 調査状況



AO-15 調査状況



AO-16 調査状況



AO-17調査状況

図版 7 調査状況 (2)

5 小館町遺跡隣接地（宅地造成）

（1）調査地の位置と周辺の環境

小館町遺跡は、平成13年頃に確認された遺跡である。市内の遺跡は、米代川とその支流域の付近の丘陵や台地上に所在するものが多く、本遺跡もその1例である。本遺跡は、八幡平より端を発し日本海へ流れる米代川と、黒森より発する長木川に挟まれた大館段丘の南部で、段丘南縁を並行して流れる小さな沢沿いに存在する。遺跡はJR東大館駅の南約0.4kmの距離に拡がり、南側には、沢跡の南岸に、平安時代の土師器ならびに中世の空堀が確認されている小館花館跡が隣接する。また、西側約0.6kmに位置する中神明町遺跡が周辺遺跡として知られている。

遺跡内の標高は、海拔61mほどで、ほぼ平坦である。なお、南神明町との間に存在していた沢跡は近代に埋め立てられ宅地として使用されている。今回の調査地はこの埋立地に面した遺跡から北西側約0.1kmの地点である。

（2）層序

- I層 表土及び盛土。調査地全体で盛土を確認した。
- II層 黒色の腐植土層。南東で僅かに確認できただけである。既に造成による削平が著しく、宅地の全面に及んでいたため、今回の調査区では大半が消滅していた。
- III層 黒褐色土。II層とIV層の漸移層である。II層黒色土層があまり存在せず、削平が本層まで深く及んでいることから、本層も薄く概ね10cm程度しか残存していない。
- IV層 にぶい黄褐色土層。基盤のローム。全調査区の基盤をなす層である。北部では比較的砂質が強く、粘性が幾分弱い。

（3）概要

調査区は、以前宅地として使用されていたが、解体されて更地となっていた。そのため、全体的に搅乱された土であった。表土より人力にて掘開した。前述のように、II層黒色土層がほとんど残存せず、またIII層も比較的薄い状況であった。調査区内から遺物は出土しなかった。

以上の結果から、今年度調査を実施した地区については、遺跡のエリアに入るとは考えがたい。



図 12 調査地区と周辺の地形 (1:2500)

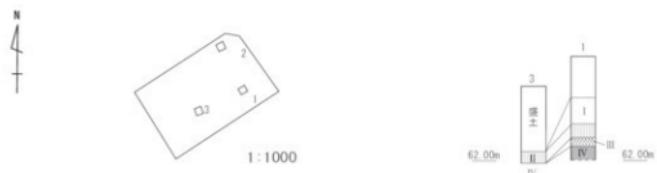
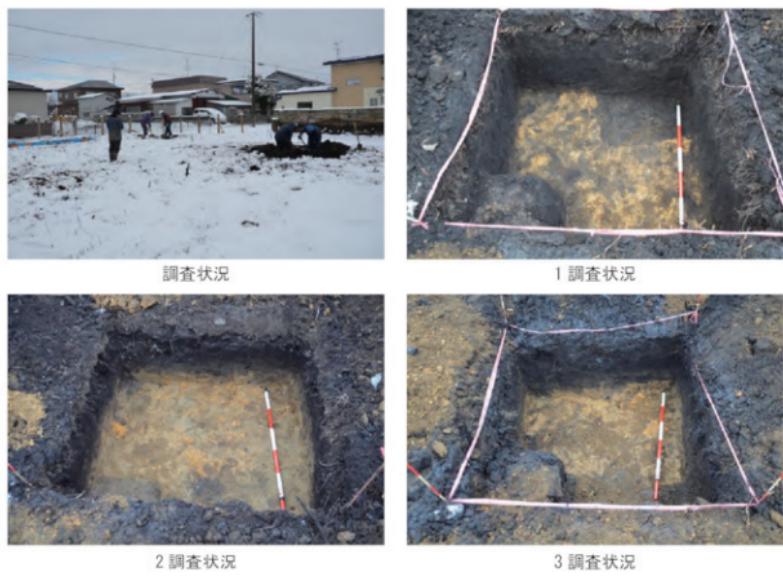


図13 調査位置図



図版8 調査状況

大館市遺跡一覧

- 本表は、秋田県遺跡台帳を基に作成したものである。
- 遺跡番号は、付図（大館市遺跡地図）の番号と合致する。
- 掲載した遺跡は、平成 26 年 3 月 31 日現在で大館地域が 169 遺跡、比内地域が 53 遺跡、田代地域が 67 遺跡の計 289 遺跡である。

表2 大館市遺跡一覧表（大館地域）

遺跡番号	名称	年代	所在地	時代	種別
4-1	長走遺跡	7世紀後叶	長走字長走	圓文(中), 平安	散布地
4-2	長走開田跡	7世紀後叶	長走字長走	平安	その他の(田面跡)
4-3	松原小豆遺跡	7世紀後叶	白沢字松原	圓文	散布地
4-4	立矢遺跡	7世紀後叶	白沢字松原	圓文(前・中・後), 平安	散布地, 古寺跡
4-5	人頭野遺跡	7世紀後叶	白沢字白沢	圓文(中), 佐生, 平安, 中世, 近世	散落跡
4-6	中羽立野跡	7世紀後叶	相田字道上	圓文(中・後・後)	散落跡
4-7	両端遺跡	7世紀後叶	相田字兩端	平安	散布地
4-8	相田遺跡	7世紀後叶	花岡町字久森上野	佐生, 平安, 中世	散落跡
4-9	白沢古墳跡	7世紀後叶	白沢字白沢	平安, 中世	城郭跡
4-10	秋原池田跡	7世紀後叶	唐人字下見沢, 白沢字平沢	圓文(中・前・中・後・後), 佐生	散落跡
4-11	樋原遺跡	7世紀後叶	樋原字樋原	圓文(後・後)	散布地
4-12	樋跡	7世紀後叶	樋原字内野原	平安, 中世	城郭跡
4-13	強筋塗瓦の道跡	7世紀後叶	板橋字内野原, 優原字塗野	圓文(前・中・後), 平安	散落跡
4-14	磐沢遺跡	7世紀後叶	花岡町字磐沢	圓文	散布地
4-15	長森遺跡	7世紀後叶	花岡町字長森	平安, 中世	散布地
4-16	人吉古跡	7世紀後叶	花岡町字人吉	圓文(後)	散布地
4-17	豊岱遺跡	7世紀後叶	花岡町字根井下	圓文(後・後)	散布地
4-18	根井下遺跡	7世紀後叶	花岡町字根井下	圓文(後)	散布地
4-19	十三森遺跡	7世紀後叶	花岡町字根井下	圓文(前・中・後), 平安, 中世	散落跡
4-20	七ツ瀬遺跡	7世紀後叶	花岡町字七ツ瀬	圓文(後), 平安, 中世	散布地, 道路跡
4-21	鶴間町・山道跡	7世紀後叶	鶴間町字山道, 宇アセ石	平安, 中世	散落跡, 道路跡
4-22	第六遺跡	7世紀後叶	鶴間町字鶴穴	圓文(後), 平安	散布地
4-23	秋原内・外Ⅰ道跡	7世紀後叶	鶴間町字内・外Ⅰ	圓文(前・後), 佐生, 平安, 近世	散落跡
4-24	秋原内・外Ⅱ道跡	7世紀後叶	鶴間町字内・外Ⅱ	圓文, 平安	散布地
4-25	秋原内・外Ⅲ道跡	7世紀後叶	鶴間町字内・外Ⅲ	中世	城郭跡
4-26	秋原内・外Ⅳ道跡	7世紀後叶	鶴間町字内・外Ⅳ	中世	城郭跡
4-27	蛭跡	7世紀後叶	松峰字下玉田	平安, 中世	散落跡
4-28	人山板碑	7世紀後叶	松峰字上坂	中世	その他の(板碑)
4-29	高畠跡	7世紀後叶	松木字高畠平	中世	城郭跡
4-30	松木高和平道跡	7世紀後叶	松木字高和平	仁和2年	散布地
4-31	松木道跡	7世紀後叶	松木字家後	圓文(後)	散布地
4-32	鏡泊壁屋遺跡	7世紀後叶	照船字鏡泊壁屋敷	圓文(早・中・後), 平安, 中世	散落跡
4-33	下坂古跡	7世紀後叶	照船字下坂汎	平安	散布地
4-34	沼跡	7世紀後叶	照船字細細	平安, 中世	城郭跡
4-35	赤石沢I道跡	7世紀後叶	川口字下赤石沢	圓文	散布地
4-36	赤石沢II道跡	7世紀後叶	川口字上赤石沢	圓文	散布地
4-37	長舟II道跡	7世紀後叶	照船字長舟, 川口字下赤石沢	圓文	散布地
4-38	長舟I道跡	7世紀後叶	照船字長舟	圓文(中・後・後)	散布地
4-39	押前跡	7世紀後叶	川口字上・森	中世	城郭跡
4-40	下川古道跡	7世紀後叶	川口字下人馬房	不明	散布地
4-41	筑堤遺跡	7世紀後叶	川口字下筑堤	圓文(中・後・後), 佐生	散落跡
4-42	川口粗塗	7世紀後叶	川口字良里	中世	城郭跡
4-43	鶴見原尾添道跡	7世紀後叶	鶴見原丁目	圓文(後)	散布地
4-44	片山跡I・II遺跡	7世紀後叶	片山町・丁目	鏡文(後), 中世	散落跡, 道路跡
4-45	土飛山跡	7世紀後叶	豊巣町, 春町	圓文, 平安, 中世	散落跡, 道路跡
4-46	人頭城跡	7世紀後叶	宇中城, 字三ノ丸, 字柱城, 字長舎, 字上町	中世	城郭跡
4-47	金坂遺跡	7世紀後叶	字金坂	平安, 中世, 近世	散落跡
4-48	青嵐平跡	7世紀後叶	東字山原屋下	近世	その他の(庭園跡)
4-49	芦井子・丘陵跡	7世紀後叶	芦井子字上丘陵	圓文(後), 平安	散布地
4-50	人丸内・外遺跡	7世紀後叶	人丸内・外字守防台	圓文(前・中)	散布地
4-51	訓訪台遺跡	7世紀後叶	人丸内・外字守防台	圓文(中・後・後), 佐生, 平安	散落跡
4-52	小丸内・外遺跡	7世紀後叶	人丸内・外字麻木台	圓文	散布地
4-53	坂ノ下道跡	7世紀後叶	人丸内・外字坂下	圓文(後), 平安	散落跡
4-54	内丸内道跡	7世紀後叶	茂内字櫻樹下	圓文(後)	散布地
4-55	鬼ヶ城跡	7世紀後叶	茂内字鬼ヶ台	中世	城郭跡
4-56	三林今跡	7世紀後叶	茂内字鬼ヶ台	圓文(中), 中世	散落跡, 古寺跡
4-57	青葉古道跡	7世紀後叶	茂衣字下青葉	圓文(後), 平安	散布地
4-58	平ヶ丘陵跡	7世紀後叶	茂衣字下平ヶ丘	圓文(後)	散布地
4-59	水沢駒跡	7世紀後叶	茂衣字下水沢駒	圓文, 平安, 中世	城郭跡
4-60	茂内星野遺跡	7世紀後叶	茂衣字茂内星野	圓文(前・中)	散布地
4-61	坂原	7世紀後叶	茂衣字坂原	近世	その他の(坂原)
4-62	稻荷中丘陵跡	7世紀後叶	北神明町	平安, 中世	散布地
4-63	太平山遺跡	7世紀後叶	中神明町	圓文(後)	散布地
4-64	小船花跡	7世紀後叶	小船町	中世	城郭跡
4-65	扇出山道跡	7世紀後叶	字扇出山道下	圓文(中・後), 平安	散落跡
4-66	萩ノ丁I道跡	7世紀後叶	小船町字萩野原	圓文(中・後)	散落跡
4-67	萩ノ丁II道跡	7世紀後叶	小船町字萩野原	圓文(中・後)	散落跡
4-68	地内遺跡	7世紀後叶	地内字上野	圓文(前・中), 佐生, 平安	散落跡
4-69	鶴見駒跡	7世紀後叶	鶴見字山下, 駒	圓文(前・中・後・後), 平安, 中世, 近世	散落跡, 道路跡
4-70	山船跡	7世紀後叶	山船字船上	平安, 中世	城郭跡
4-71	山船上・山道跡	7世紀後叶	山船字上・山	圓文(早・中・中・後・後), 佐生, 平安	散落跡
4-72	茅毛丘陵跡	7世紀後叶	中山字茅毛原	圓文(中・後)	散布地
4-73	丸沢遺跡	7世紀後叶	中山字丸沢	圓文	散布地
4-74	鬼沢遺跡	7世紀後叶	中山字鬼沢	圓文(早・中・後)	散落跡
4-75	森木山遺跡	7世紀後叶	曲田字森木山根	圓文(前・中・後・後)	散落跡
4-76	野尻丁I道跡	7世紀後叶	曲田字野尻原	圓文(中・後)	散布地
4-77	野尻丁II道跡	7世紀後叶	曲田字野尻原	圓文(中)	散布地
4-78	野尻丘陵道跡	7世紀後叶	曲田字野尻原	圓文(早・中・中・後)	散落跡
4-79	野尻岱IV道跡	7世紀後叶	曲田字野尻原	圓文, 平安	散布地
4-80	上聖遺跡	7世紀後叶	曲田字上聖	圓文(前・中・後)	散布地

道路番号	名称	JISコード	所在地	時代	種別
4- 81	新崎山道	54717171	释迦文字萩森,沼ノ塩	彌文(後), 平安, 中世	集落跡, 城郭跡
4- 82	释迦文字新宿路	54717172	释迦	平安, 中世	散布地
4- 83	鳥原山道	57717173	鳥原字古宿,字留置,字獣森,字猪原,谷地原	平安, 中世	城郭跡
4- 84	竹林道	57717174	鳥原字竹林	彌文(前・中)	散布地
4- 85	須磨山道	57417175	鳥原字須煩	彌文(前・中)	散布地
4- 86	板小屋道	57217176	鳥原字板小屋	彌文	散布地
4- 87	柳垂道	57117177	鳥原字柳垂	彌文(前・中)	散布地
4- 88	高麗人道	57117178	十日王子高髻子	彌文(前)	散布地
4- 89	別所山道	57117179	十日王子一ノ池	中世	城郭跡
4- 90	十日山古宿跡	57117180	十日王子田町,字中藤原	中世	城郭跡
4- 91	十日山道	57117181	十日王子元館	平安, 中世, 近世	城郭跡
4- 92	大境人道	57117182	十日王子古館	平安, 中世	集落跡, 城郭跡
4- 93	陳羽丘古道	57117183	通日本字陳煩岱	平安	散布地
4- 94	二井川道	57117184	二井字田畠,字皆ノ塩	中世, 近世	城郭跡
4- 95	けら木森一里塚	57117185	二井字木森	近世	その他の(一里塚)
4- 96	パック川道	57117186	本宮字パック	彌文(中・後)	散布地
4- 97	本宮山道	57117187	本宮字荒ノ下	中世	城郭跡
4- 98	本宮寺人沢道	57117188	本宮寺寺ノ沢	平安	散布地
4- 99	本宮寺人沢道	57117189	本宮寺上ノ山,字兩丸島坂	彌文, 平安, 中世, 近世	散布地, 城郭跡
4-100	本宮寺中台道路	57117190	本宮寺字野,字上ノ山	彌文	散布地
4-101	上野道	57117191	本宮寺字野	平安(後・現)	散布地
4-102	前田御跡	57117192	北内字出字南面山板,字桔清水下	平安, 中世	城郭跡
4-103	松川道	57117193	松川字松川口,字桶原	中世	城郭跡
4-104	栗原寺傍道	57117194	栗原寺傍道,字中杉沢	平安	散布地
4-105	大子山道	57117195	大子字中杉沢	中世	城郭跡
4-106	秋ノ山道	57117196	大子字中林ノ上	彌文	散布地
4-107	曲尺道	57117197	大坂ノ原ノ沢・字森権	彌文	散布地
4-108	人波御跡	57117198	人波字人波	中世	城郭跡
4-109	櫻島御跡	57117199	櫻島字吉宅地	中世	城郭跡
4-110	戸戸山道	57117200	戸戸山字上坂上,櫻塙字戸戸屋巳地	平安, 中世	城郭跡
4-111	赤石御跡	57117201	赤石字御跡,字坂塙爲	中世	城郭跡
4-112	板沢・一里塚	57117202	板沢字板沢,字乙上界	近世	その他の(一里塚)
4-113	板沢御跡	57117203	板沢字甲上界	平安, 中世	散布地
4-114	山崩人道	57117204	小舟字山崩原	彌文	散布地
4-115	大平人道	57117205	霞沢字平下	彌文(後)	散布地
4-116	石西御跡	57117206	霞沢字石西	彌文(中)	散布地
4-117	石鹿人道	57117207	霞沢字石瀬上	彌文	散布地
4-118	宮音御跡	57117208	東字宮音	彌文(前)	散布地
4-119	山崎御跡	57117209	釋迦字山崎	平安	散布地
4-120	武口御跡	57117210	曲田字武口,字山田原	彌文(後), 佐生	散布地
4-121	奥ノ山御跡Ⅱ	57117211	释迦字奥ノ山・長根,字子輪傍	彌文(前)	集落跡
4-122	奥ノ山御跡Ⅲ	57117212	释迦字奥ノ山・長根,字子輪傍	彌文(早・中・後)	集落跡
4-123	奥ノ山御跡Ⅳ	57117213	释迦字奥ノ山・長根,字子輪傍	彌文(早・中・後・現), 佐生	集落跡
4-124	足利御跡	57117214	束東字束東	彌文(前)	散布地
4-125	千葉人道	57117215	鶴原・丁日	彌文(后・中)	その他の橋, 敷地施設
4-126	棚下人道下	57117216	棚下人道	彌文(早・中・後), 平安	集落跡, その他の(行駕宿場)
4-127	長毛原六山高輪植物群落	57117217	長毛字長毛	その他の(天然記念物)	
4-128	ダリヤ生息地	57117218	字松原,字南,字池内下	その他の(天然記念物)	
4-129	芝谷御原植物群落	57117219	加助内字コヨハ	その他の(天然記念物)	
4-130	通日本字道	57117220	通日本字中谷地	彌文, 平安	
4-131	棚下人道	57117221	棚下人道町	彌文(后・中)	集落跡
4-132	棚下人道	57117222	棚下人道町	彌文(后・中)	集落跡
4-133	棚下人道	57117223	棚下人道町	彌文(后・中・後), 平安	集落跡, 吉座道跡
4-134	二ノ谷人道	57117224	鶴加内字二ノ谷	彌文(前), 佐生	散布地
4-135	第六人道	57117225	鶴加内字六	彌文(前), 平安	集落跡
4-136	第六人道	57117226	鶴加内字狼穴	彌文(早・中・後), 佐生, 平安, 近世	集落跡
4-137	第六人道	57117227	鶴加内字狼穴	彌文, 佐生, 平安	集落跡
4-138	三ノ谷人道	57117228	鶴加内字三ノ谷	彌文(前), 平安	散布地
4-139	通人道	57117229	鶴加内字福祖	平安	散布地
4-140	扇山人道	57117230	東行・丁日	彌文(後), 平安	散布地
4-141	小船人道	57117231	小船町	彌文(前)	散布地
4-142	船人道	57117232	茂内人道町口,字種綱下	彌文, 平安	散布地
4-143	加助内人道	57117233	大茂人字加助町	彌文(早・中・後), 佐生	散布地
4-144	鶴の御跡	57117234	鶴の御跡	彌文(前), 平安	城郭跡, 菅原跡
4-145	上野御跡	57117235	池内人字上野	彌文(中), 平安	集落跡
4-146	上蟹御跡	57117236	曲田人字上蟹	彌文(前)	集落跡
4-147	家ノ代道	57117237	曲田人字家ノ代	彌文(後)	集落跡, その他の墓
4-148	荒丸人道	57117238	中山字荒丸	彌文(后・中)	集落跡
4-149	中山中村	57117239	中山字中山	彌文(中), 平生	集落跡
4-150	陳脚山道	57117240	通日本字陳脚	彌文(後), 平安	集落跡
4-151	谷地人道	57117241	兩人字谷地中	彌文(早・中・後)	集落跡, その他の墓
4-152	山道山道	57117242	兩人字山道ノ沢	彌文(中・後), 中世	集落跡
4-153	野崎御跡	57117243	兩人字野崎	彌文(早・中・後), 平安, 中世	集落跡
4-154	三ノ谷人道	57117244	兩人字三ノ谷	彌文(前)	散布地
4-155	男神御跡	57117245	出田字男神	彌文(后・中・後), 佐生	集落跡
4-156	扇上人道	57117246	兩人字扇下	5年	集落跡
4-157	扇下人道	57117247	兩人字扇下	彌文(早・中・後), 平安	散布地
4-158	通和山道	57117248	川口字通和山	彌文(中・後), 平安	散布地
4-159	通和山道	57117249	花園字通和	彌文(前)	散布地
4-160	和白人道	57117250	通日本字	彌文, 平安	散布地

遺跡番号	名称	性質	所在地	時代	種別
E-161	和台口遺跡	「ア」字形	道日本	調文(中)	散布地
E-162	菟内原町II遺跡	「ア」字形+斜行	奈良市菟内原	調文(前)	散布地
E-163	菟木原遺跡	「ア」字形	十二所子木野	古世	集落跡
E-164	下野口遺跡	「ア」字形	本宮市下野口	調文(早・盛・中・後・晩)、平安、中世	集落跡
E-165	安ノ沢遺跡	「ア」字形	大子市安ノ沢	調文(早・盛・中・後・晩)、奈生	集落跡
E-166	川口ト・森遺跡	「ア」字形+斜行	川口市十・森	調文(後)、繪滿文、奈良	集落跡
E-167	孤岳山古墳群	「ア」字形+斜行	松峰寺大山、芦	平安、近世	社寺跡
E-168	沢口II遺跡	「ア」字形	曲出字沢口	調文	散布地
E-169	猿屋遺跡	「ア」字形	長毛寺猿屋	調文(中・後)	散布地

表3 大館市遺跡一覧表(比内地域)

遺跡番号	名称	性質	所在地	時代	種別
12- 1	第一沢遺跡	「ア」字形	比内町大野字第一沢	調文(前・中)	散布地
12- 2	休間口遺跡	「ア」字形	比内町大野字休間口	調文	散布地
12- 3	曳沢口遺跡	「ア」字形	比内町大野字曳沢	調文(後)	散布地
12- 4	千代ノ谷遺跡	「ア」字形	比内町大野字千代谷	調文(前・中)	散布地
12- 5	美森遺跡	「ア」字形	比内町美森字日向原下	調文(後)	散布地
12- 6	猪臥遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字人見原	調文(後)	散布地
12- 7	大日安山遺跡	「ア」字形+斜行	比内町猪卧字大日安	調文(中・後・晩)、平安	集落跡
12- 8	十糸路遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字猪間	平安、中世	城郭跡
12- 9	床敷津遺跡	「ア」字形+斜行	比内町猪卧字敷津	調文(中・後)、平安	散布地
12-10	麻理内遺跡	「ア」字形	比内町猪卧内字下有	調文(後)	散布地
12-11	室内中岱遺跡	「ア」字形+斜行	比内町猪卧内字室内中岱	調文(前・後)	散布地
12-12	神ノ沢遺跡	「ア」字形	比内町猪卧内字神ノ沢	平安	集落跡
12-13	横沢遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字横沢	調文(早・中)、平安	集落跡
12-14	人佐遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字人佐	調文(8世)、平安	散布地
12-15	横沢B遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字横沢	調文(8世)、平安	散布地
12-16	真船跡	「ア」字形	比内町新船字真船	平安、中世	城郭跡
12-17	長岡城跡	「ア」字形+斜行	比内町猪卧字長岡	亦先、平安、中世	城郭跡
12-18	古川遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字本古川	平安	散布地
12-19	木瀬瀬遺跡	「ア」字形+斜行	比内町猪卧字木瀬瀬	調文(早・前・中・後)	集落跡
12-20	中野八幡台振跡	「ア」字形+斜行	比内町猪卧字八幡台	平安	城郭跡
12-21	中野城跡	「ア」字形	比内町猪卧字八幡照	平安、中世	城郭跡
12-22	長内六郷跡	「ア」字形	比内町猪卧字六郷	調文(8世)	散布地
12-23	久尾遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字久尾	調文	散布地
12-24	盆地小山跡	「ア」字形	比内町猪卧字中野	調文(前・後・晩)、平安、中世	城郭跡
12-25	神居遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字神居	平安	集落跡
12-26	假船城跡	「ア」字形+斜行	比内町猪卧字舟皆、字田野、字木無、字小森	調文、平安、中世	城郭跡
12-27	片貝遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字伊勢北	調文(8世)、平安	散布地、集落跡
12-28	二ツ森遺跡	「ア」字形	比内町猪卧字二・森	調文(8世)	散布地
12-29	寺崎ノ遺跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字寺崎	調文(8世)	散布地
12-30	寺崎ノ遺跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字寺澤	調文(8世)	散布地
12-31	五輪台A遺跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字五輪	調文(8世)	散布地
12-32	五輪台B遺跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字五輪台	調文(8世)	散布地
12-33	八木城跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字八木城	平安、中世	城郭跡
12-34	道遺跡	「ア」字形	比内町木端字道	調文(8世)	散布地
12-35	御田遺跡	「ア」字形	比内町木端字御田	調文(8世)	散布地
12-36	木無遺跡	「ア」字形	比内町木端字木無	調文	散布地
12-37	二ツ森B遺跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字二・森	調文	集落跡
12-38	明野村遺跡	「ア」字形	比内町木端字明野	調文	散布地
12-39	野中町村跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字野中	中世	城郭跡
12-40	下野細田跡	「ア」字形	比内町木端字下野	中世	城郭跡
12-41	六郎山遺跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字六郎	中世	城郭跡
12-42	小かづ姫跡	「ア」字形	比内町木端字森合下家下	平安、中世	城郭跡
12-43	森合福跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字森合上家下、字上森合、字森合	平安、中世	城郭跡
12-44	長坂細田跡	「ア」字形	比内町木端字中山坂通	中世	城郭跡
12-45	船の穴細田跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字長船	中世	城郭跡
12-46	中野上野山遺跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字上野山、字上五日市	平安	散布地
12-47	休閉内沢口遺跡	「ア」字形+斜行	比内町木端字休閉内沢	調文(後)	散布地
12-48	只見下石跡	「ア」字形	比内町鬼吹内字只見下	平安	集落跡
12-49	鬼吹内沢口I遺跡	「ア」字形+斜行	比内町鬼吹内字鬼吹下	平安、近世	集落跡
12-50	鎌谷堀内沢跡	「ア」字形	比内町人木堀字鎌谷地沢	調文(後)	その他の(狩猟場)
12-51	御田日遺跡	「ア」字形	比内町人木堀字御田	調文	散布地
12-52	貞の口遺跡	「ア」字形	比内町新船字貞の口	調文(後)、平安	集落跡
12-53	真船遺跡	「ア」字形	比内町新船字真船	平安	散布地

表 4 大館市道路一覧表（田代地域）

道路番号	名称	JCT	所在地	時代	種別
15- 1	二子山丁道跡	17号付近	早口字森下	平安	散布地
15- 2	二子山日道跡	17号付近	早口字西平	平安	散布地
15- 3	寒川山道跡	17号付近	岩瀬字寒川	平安(原)	散布地
15- 4	度屋上日道跡	17号付近	山田字度屋上羽立	平安(原)	散布地
15- 5	中任山道跡	17号付近	早口字中任沢	平安	散布地
15- 6	上茂山道跡	31号付近	山田字茂山御曾喜、字茂屋上悪戸	平安	散布地
15- 7	度茂の日道跡	31号付近	岩瀬字度茂山向岱	平安(原・中・後)	散布地
15- 8	赤木山道跡	31号付近	山田字赤木、字下赤木	平安(中・後)、弥生	集落跡、その他の集落跡
15- 9	度屋東道跡	17号付近	山田字度屋上羽立	平安(原)	散布地
15-10	岩瀬山塩原町道跡	17号付近付近	岩瀬字下塩原	平安(原)	集落跡
15-11	下相馬道跡	5号付近	山田字下相馬沢	中世	城跡跡
15-12	矢石山道跡	17号付近	早口字矢石館	平安(原)、平安	その他の墓
15-13	大任山道跡	17号付近	早口字大任沢、字稻荷後岱	平安(原・後)	その他の墓
15-14	長坂山道跡	17号付近	長坂字大字	平安	散布地
15-15	長坂山丁道跡	17号付近	長坂字大字の傍	平安	散布地
15-16	大任山塩原町道跡	31号付近	早口字大任沢、字地森豈	平安(中)、平安	散布地
15-17	越山御曾喜上道跡	31号付近	岩瀬字山神堂下	平安(原)	散布地
15-18	越山山道跡	31号付近	岩瀬字山神堂下	中世	城跡跡
15-19	野沢山道跡	17号付近	山田字野沢	平安、中世	城跡跡
15-20	山出山道跡	17号付近	山田字山出、字向間	平安	城跡跡
15-21	河家丁道跡	17号付近	山田字河家下	平安	散布地、後指跡
15-22	一本松山道跡	17号付近	山田字一本柳	中世	城跡跡
15-23	中谷山道跡	17号付近	早口字中谷堆	平安(中・後)	散布地
15-24	大野山道跡	17号付近	早口字大野	平安(中)	散布地
15-25	大野山道跡	17号付近	早口字大野	平安(中)、平安	散布地
15-26	貝負山道跡	31号付近	早口字貝負	平安	散布地
15-27	大任山丁道跡	31号付近	早口字大任中岱	平安	散布地
15-28	地谷山道跡	17号付近	早口字地谷森	平安(中)	散布地
15-29	闇ノ山道跡	17号付近	早口字闇ノ下	平安	散布地
15-30	魯西山道跡	17号付近	早口字魯西	平安	散布地
15-31	板佐山道跡	17号付近	早口字板佐	平安(原)	散布地
15-32	窓野山道跡	17号付近	早口字窓野	平安	散布地
15-33	一本木山道跡	17号付近	早口字一本木	平安(原)、平安	散布地
15-34	一本木山道跡	17号付近	早口字一本木	平安(中)、平安	散布地
15-35	金屋山道跡	31号付近	早口字金屋沢	平安	散布地
15-36	丸谷地蔵山道跡	17号付近	早口字丸谷地	平安	散布地
15-37	中任山丁道跡	17号付近	早口字中任沢	平安	散布地
15-38	中任山日道跡	17号付近	早口字中任	平安(中)、平安	散布地
15-39	中任山塩原町道跡	17号付近	早口字中任	平安(原)	散布地
15-40	新屋山道跡	31号付近	早口字新屋敷	平安(原)	散布地
15-41	後田山道跡	31号付近	早口字後田	平安	散布地
15-42	前立山道跡	17号付近	早口字前立	平安	散布地
15-43	本郷山道跡	17号付近	早口字本立	平安	散布地
15-44	本郷山道跡	17号付近	早口字本立	平安	散布地
15-45	本郷山道跡	17号付近	早口字本代	平安	散布地
15-46	本郷山道跡	17号付近	早口字本居敷	平安	散布地
15-47	大石山道跡	17号付近	早口字大石沢	平安	散布地
15-48	高山山道跡	17号付近	早口字高山	平安(原)、平安	散布地
15-49	上長山道跡	31号付近	早口字上長谷地	平安	散布地
15-50	丸山山道跡	17号付近	早口字丸山下	平安(中・後)	散布地
15-51	丸山山道跡	17号付近	早口字大野	平安	散布地
15-52	官下山道跡	17号付近	早口字官下	平安(原)	散布地
15-53	平瀬山道跡	17号付近	早口字平瀬	平安	散布地
15-54	平瀬山道跡	17号付近	早口字平瀬	平安	散布地
15-55	平瀬山道跡	17号付近	早口字平瀬	平安	散布地
15-56	平瀬山道跡	17号付近	早口字平瀬	平安	散布地
15-57	平瀬山道跡	17号付近	早口字平瀬	平安	散布地
15-58	内筋山山道跡	17号付近	岩瀬字内筋山沢	平安(原)	散布地
15-59	桂沢山道跡	17号付近	岩瀬字下桂沢	平安	散布地
15-60	桂沢山道跡	17号付近	岩瀬字下桂沢	平安	散布地
15-61	桂沢山道跡	17号付近	岩瀬字下桂沢	平安	散布地
15-62	中尾山道跡	17号付近	岩瀬字中尾沢	平安(原)、後指跡	散布地
15-63	みのり台山道跡	17号付近	長坂字宝田岱	平安(原)、続平安	散布地
15-64	長坂山道跡	17号付近	長坂字宝敷	平安(中)	散布地
15-65	上赤木山道跡	31号付近	山田字上赤萩沢	平安(原)	散布地
15-66	曾谷山道跡	17号付近	早口字曾谷地	平安(原)、後指跡	集落跡
15-67	大川日光瀬道路	17号付近	岩瀬字大川日光瀬	平安(原)、後指跡	集落跡

報告書抄録

ふりがな	おおだてしないいせきしようさいぶんぶちょうさほうこくしょ (4)					
書名	大館市内遺跡詳細分布調査報告書 (4)					
刷書名						
卷次						
シリーズ名	大館市文化財調査報告書					
シリーズ番号	第10集					
編著者名	鳩影 壮憲					
編集機関	大館市教育委員会郷土博物館					
所在地	〒017-0012 秋田県大館市軽淵内字獅子ヶ森1番地 TEL 0186-48-2119 FAX 0186-48-2512					
発行機関	大館市教育委員会					
所在地	〒018-3595 秋田県大館市早口字上野43番地1 TEL 0186-43-7111 FAX 0186-54-6100					
発行年月日	2014年3月31日					
ふりがな 所収遺跡名	ありがな 所在地	ヨード 市町村 遺跡番号	北緯	東経	発掘期間	発掘面積 m ²
（ひやくじゆうとうめぐわい） 比内町扇田地区	秋田県大館市比内町扇田	05204	一	40°13'14"	140°35'43"	20130604
（あやめのじゆうとうめぐわい） 芦田子上岱遺跡	秋田県大館市芦田子		4-49	40°18'07"	140°35'28"	20130612 ～ 20130622
（はなわらわくとうめぐわい） 花岡城跡・神山遺跡	秋田県大館市花岡町		4-21	40°19'14"	140°33'19"	20130905
（しもかわらわくとうめぐわい） 下川原地区	秋田県大館市下川原		一	40°19'39"	140°31'26"	20131106 ～ 20131203
（こじごじとうめぐわい） 小館町遺跡隣接地	秋田県大館市小館町		4-141	40°15'47"	140°33'10"	20131225
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
芦田子上岱遺跡	集落跡、散布地	縄文・平安・近世	製鉄炉跡		縄文土器、石器、 製鉄関連遺物、銭貨	製鉄跡を検出。 範囲変更
花岡城跡・神山遺跡	集落跡、城館跡	平安・中世	柱穴様ピット、焼土		土師器	
要約	平成25年度は、5つの開発事業予定地内の詳細分布調査を実施した。その結果、芦田子上岱遺跡については、本調査が必要、花岡城跡・神山遺跡については、工事立会が必要と判断し、開発事業との調整を図った。					

大館市文化財調査報告書第10集

大館市内遺跡詳細分布調査報告書 (4)

発行日 平成26年3月31日
 編集 大館市教育委員会郷土博物館
 大館市軽淵内字獅子ヶ森1番地
 発行 大館市教育委員会
 大館市早口字上野43番地1
 印刷 株式会社 大館印刷
 大館市字馬喰町35番地